

自己評価及び学校関係者評価書（令和5年度）

作成年月日 令和 6年 3月12日
 学校名 附属函館中学校

1. 本年度の経営の重点目標

(1) 小中で附属学校の使命を果たす：研究と実践で地域に貢献する学校
(2) 小中で21世紀に活躍する人間を育成する：研究と実践で魅力あふれる学校
(3) 小中で次世代が求める新しい学校観を追究する：研究と実践による新たな学校

2. 本年度の指導の重点目標

(1) 1人1台端末環境における指導と評価の一体化の実現～学習履歴の利活用による学びの改善～
(2) ひとりひとりの学習を成り立たせる「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実のためのICT活用

3. 自己評価結果 【達成状況】 A：十分である， B：概ね十分である， C：不十分である

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学校経営 (園経営)	附属学校の使命に関する取組	A	・教育実践研修センターとしての取組の更なる充実（北海道教育委員会及び市町村教育委員会との連携の強化）	A	A
	入学選考（定員充足）の取組	A	・附属学校としての特色を打ち出した更なるPR活動の取組の工夫（制服・ジャージの刷新）	A	A
	業務の精選・効率化	B	・ICTを活用した業務の推進、校務支援システムの利活用の充実 ・部活動における課題整理	A	A
学校関係者評価者意見		教職員の実感を伴う業務改善がさらに進むことを期待する。			
教育課程	小中一貫教育課程に関する取組	B	・小中における課題の共有化・連携 ・授業力向上セミナーに向けた連携の強化	A	A
	新学習指導要領に関する取組	A	・評価方法・通知の更なる充実	A	A
	社会的資質や行動力を伸ばす教育活動	A	・総合的な学習の時間を核とした「探究」学習の充実	A	A

学校関係者評価者意見		生徒同士が学び合う活動のさらなる活性化を期待する。			
（学保育指活動）	各教科、領域などの適切な評価と改善	A	・個別の学びのデータ蓄積への評価アプローチの改善（CBTの取組含む）	A	A
	21世紀型学力の育成	A	・新たな時代にふさわしい授業デザインの蓄積 ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	A	A
	多様な学習形態・方法の実践及び各種研修の受講	A	・GIGAスクール構想の実現による多様な学習スタイルの構築 ・研修履歴を活用した各種研修の受講の奨励	A	A
学校関係者評価者意見		引き続き、デジタルとアナログ教材の使い分けを視野に入れながら、生徒の学びが広がったり深まったりするための取組を継続してほしい。			
児童園・児生指（指導）	いじめ、体罰防止の取組	A	・課題に生徒が主体的に取り組み、解決を図る工夫	A	A
	規範意識、基本的な生活習慣の確立	B	・デジタルシチズンシップ育成による教育活動の工夫	A	A
	生徒指導情報の共有と連携	A	・家庭との連携強化と保護者の生徒指導における理解深化	A	A
学校関係者評価者意見		個々の生徒が生き生きと成長していく場としてさらに充実することを期待する。			
健康安全	学校安全に対する意識の醸成・啓発	A	・日常的な危機管理意識の醸成 ・職員への日常的な啓蒙	A	A
	避難訓練等の適切な実施	A	・具体的な災害時等を想定した訓練の工夫 ・附属函館4校合同避難訓練の更なる工夫	A	A
	健康安全教育の推進	A	・研究成果の全校生徒等への活用（近視力実態調査） ・救急救命講習の継続実施	A	A
学校関係者評価者意見		一つ一つの事柄を、客観的なデータに基づいて分析し、対応していることが評価できる。			
教	教育環境の整備と充実	B	・図書館機能の充実とデジタル化（蔵書数の拡大） ・令和6年度及び令和7年	A	A

育 環 境	施設設備の更新、維持管理と教材・教具の充実	B	度の校舎改修の推進 ・危険箇所の把握と計画的な要望 ・教材・教具の更なる充実	A	A
	求められている新たな教育環境の整備	A	・「学びの情報化」に対応した教育実践研究棟の設備の充実	A	A
学校関係者評価者意見		校舎改修など、教育環境の整備が進んでいることが評価できる。			
大 学 と の 連 携	附属学校・教育実践研修センター運営委員会の開催	B	・継続的、計画的な開催	A	A
	函館校との連携	A	・学部、教職大学院との協同プロジェクトの推進	A	A
	効果的な教育実習	A	・教職課程運営委員会への継続的な参画	A	A
学校関係者評価者意見		今後も地域の教育をリードしてほしい。			
そ の 他	函館4校園の連携による特色化	B	・教育活動の日常的な連携	A	A
	情報活用能力の育成に関する特色化	A	・地域教育機関との積極的な連携・支援	A	A
	最先端のICT教育に関する特色化	A	・先導的実践研究の推進 ・関係企業との更なる連携	A	A
学校関係者評価者意見		附属函館四校園の連携をさらに強化し、引き続き、その成果を地域に発信してほしい。			